

# ACCU DRIP / ACCU VALVE IV set

## [輸液及び輸液セット(Accu Valve IV set)の準備]

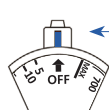
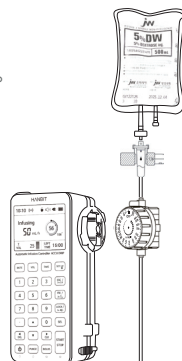
1. 輸液バッグまたは輸液ボトルの輸液出口に Accu Valve IV セットのスパイクを深く挿入します。
2. ローラークランプを最大開放した状態で Accu Valve の Full Open を 2~3 回繰り返しながら、輸液をチューブの端まで満たした後、点滴筒を 2~3 回押して、輸液を 1/2 程度満たします。
3. 点滴筒を高さ針床から垂直90cm以上に位置させます。

## [Accu Drip 準備]

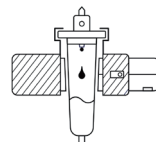
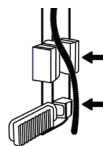
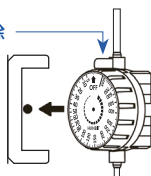
AccuDripをポールの適切な位置に取り付けた後、[POWER]ボタンを2秒間押して電源を入れます。

## [Accu Valve IVセットをAccu Dripに取り付ける]

1. Accu ValveのダイヤルをOffの位置に合わせて、マーカーカーを取り外します。
2. Accu ValveをAccu Dripのバルブ固定部に取り付けます。
3. 気泡センサーの下部にあるチューブ固定部ホルダーを横にスライドさせて、輸液ラインを気泡センサーに取り付けます。
4. 点滴筒の上部突出部が点滴センサのガイド溝に入るように、点滴センサを点滴筒にはめ込みます。



← マーカーカー 削除



※ バルブ付前確認事項

-ダイヤルはオフ状態に位置

-上端のマーカーカーの取り外し

1. アクュバルブをバルブ固定部に取り付ける

2. 輸液ライン付

3. 点滴センサを点滴筒に取付け

## [注入設定と開始]

1. [RATE] ボタンを押した後、数字ボタンで設定速度を入力します。  
注入量(Volume)と注入時間(Time)は必要に応じて設定できます。
2. [START]ボタンを押して注入を開始します。

現在注入中の流量速度でAccu Valveを分離して使用できます。

1. 注入中の状態で[FIX]ボタンを押してFIXモードに入る
2. [STOP]ボタンを押さずにAccu Dripバルブ取付部の取り外しボタンを押し、時計回りに回してAccu Valveを外す
3. 気泡センサー下部チューブ固定部のホルダーを横に押し、輸液ラインを外す
4. 点滴センサーを点滴筒から取り外す

検査室の移動時 (MRI、CT検査など) または夜間にはバルブ調整が固定されるFix modeまたはSleep modeの使用を推奨します

## 注入速度のリセット

1. [STOP]ボタンを押して操作を一時停止
2. [RATE]ボタンを押し、数字ボタンで設定値を再入力
3. [START]ボタンを押して注入を再開する

## 注入中に輸液を交換するとき

1. [STOP]ボタンを押して操作を一時停止
2. 樹液瓶または輸液袋の交換
3. [START]ボタンを押して注入を再開する

## [注意事項]

1. 輸液を冷たい所に保管後、室温での使用時、気泡によるアラーム発生の可能性を防ぐために、室温保存後の使用をお勧めします。
2. 姿勢変化(輸液バックと静脈注入部の変化)や腕を曲げた状態が続いて設定した流量が得られないと、臨床警報アラームが鳴ります。
3. 歩行または検査室の移動にはFIXモード(バルブ調整固定)を使用してください。
4. 2種類以上の薬剤を注入する場合、3wayを使用してシリンジポンプのように使用できます。  
ただし、インフュージョンポンプは注入時に波動性の圧力変化が発生し、流量制御に影響を与える可能性があるため、同じラインで併用しないでください。
5. 輸血、動脈への注入には使用しないでください。
6. 設定した流量が得られない場合(特に500mL/h以上で)、輸液バックの高さを十分に確保して使用してください。